

## 暑さに負けず! みんなで田植え

### 町内4つの小学校で田植え体験

6月から7月にかけて、町内4つの小学校で、5年生が学校近くの水田で田植



えを体験しました。町内の小学校では、地域学習の一環として毎年5年生が米作りを学習。地元農家協力のもと、ぬかるむ田んぼに苦戦しながらも一株一株丁寧に苗を植えていきました。

◀助け合いながら (三小)



◀1株ずつ丁寧に (二小)



◀みんなできれいに植えていきます (一小)

▶楽しみながら教わります (四小)



## 小学生を対象にした租税教室

### 次世代を担う子供たちに学びを

玉名地区租税教育推進協議会(渡邊 晃 会長)では、次代を担う児童の皆さんに、税の意義や役割を正しく理解していただき、社会の一員としての自覚を持ってもらうために毎年租税教室を開催しています。今年度も税務住民課の職員や玉名税務署職員が町内4校を訪問し、租税に関する授業を行いました。

税金のある世界とない世界が出てくるアニメを見ながら、税金がなくなるとどうなるのか、税金はあった方がいいのかを考えました。また、税金が使われているものと使われていないものを分別するグループワークをしながら学びました。納税の義務を果たすことの大切さを理解し、税の負担者として税金の使い道についての理解と関心を深める機会となりました。



▲租税教室の様子(写真は第四小学校)

## 7月10日は「納豆の日」!

### 町内小学校に特製クリアファイル贈呈

株式会社丸美屋が7月10日の納豆の日にあわせ、町内小学校に納豆の日クリアファイルを贈呈しました。食育活動の一環として、各学校にマスコットキャラクター「パワーキッズ」も参加し、納豆に関するクイズなどを行い楽しいひと時を過ごしました。クリアファイルには納豆の名前の由来やできるまでの工程などのイラストが入っており、手にした児童たちは納豆の秘密に目を輝かせていました。



▲第一小学校



▲第二小学校



▲第三小学校



▲第四小学校

## 南関町交流拠点施設〈ukara〉プレオープン!!

### 笑顔と音楽があふれるイベントになりました

6月22日(日)に、南関町交流拠点施設〈ukara〉の竣工式が執り行われました。町は、設計/監理を手掛けた、株式会社 ブルースタジオ、施工を請け負った、興亜・津留特定建設工事共同企業体に対し、感謝状を贈呈しました。佐藤町長は、「これまでに携わっていただいた皆様のご理解ご尽力により、プレオープンを迎えることができ感謝申し上げます。今後の〈ukara〉が南関町の発展に貢献し続けると確信しています」と話しました。

プレオープンしたことで、会議やワークショップ、交流イベントなどを多目的に利用できる貸室のほか、キッチンルームやホールが利用可能になり、さまざまな交流拠点としてご利用いただけます。

また、プレオープンイベントとして、音楽マルシェ in South Gate Music&marche 2025が2階大ホールにて開催されました。九州で活躍されているアーティストが奏でる音楽とともに飲食物や物販・体験を楽しむお客さんの姿が多くみられました。



## 課題が見えた貴重な機会

### KYFA堺整形外科杯九州大会出場

6月30日(月)、荒尾FCに所属する選手4名が教育長を表敬訪問し、6月21日(土)に長崎県で開催された「KYFA堺整形外科杯2025第40回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会」の結果を報告しました。

副主将の木村仁さんは、「この大会を通して、シュートを外すことが多かった。そのため課題を解決して、目標である高円宮杯での九州大会勝利にむけて頑張りたい」と次に向けての意気込みを語りました。



◀左から永杉教育長、西田優志さん、田原颯朗さん、木村仁さん、片山怜音さん

## 銀座熊本館で「南関フェア」開催

### 町制70周年記念 南関フェア

南関町の物産品の認知度向上とふるさと納税のPRを目的とした「南関フェア」を東京都中央区にある銀座熊本館で6月10日から23日まで開催しました。

南関あげや100年フードに認定された南関そうめん、竹箸、黒棒、いきなり団子、野菜や米、小代焼など販売し、来館された方へ商品の説明や販促促進活動を行いました。

また、2階Asobi・barでは、定番メニューの「南関あげ丼」や期間限定メニューとして南関産のたけのこを使った「たけのこご飯」「南関あげのピザ」を提供し、町の魅力が詰まったフェアとなり、多くの方にご来場いただきました。

